

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 にじのいえ		
○保護者評価実施期間	令和6年9月17日		令和6年10月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和6年9月17日		令和6年10月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋のスペースは広くないが、個室を含めて4部屋あり、活動内容に応じた部屋の利用ができること。	机やイスなどの配置を変えたり、別室に移動することでスペースを確保できるようにしている。	安全に活動できるように日々の点検を行い、危険なものは取り除くなどの安全管理を行っている。
2	1階にテラスがあり、運動遊びを楽しんだり、夏は水遊びやプール遊びを楽しむことができる。	事故やけがのないよう、遊びの内容や環境の調整を調整を行っています。また、サンシェードを設置し、こまめに休憩をとって、スポーツドリンクや塩タブレットの提供を行う事で熱中症の予防に努めています。	職員間で外遊びをする際のルールを共有している。また、日々の点検を行い危険な玩具は取り除くことで安全管理に努めています。
3	長期休暇時は、社会見学を兼ねて地域のスーパーでの買い物経験や公共施設、公共の乗り物を利用することで社会のマナーを学ぶことができる。	事前の下見や時刻、料金等の確認を行う事で、安全に移動できるようにしています。	繰り返し経験できる機会を設け、自信を高め、自分で考えて行動できる力につなげています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士との交流や地域住民、放課後児童クラブや児童館など外部の子どもとの交流がない。	保護者会は、コロナ禍だったため休止していた。 事業所に招待できるような部屋のスペースがないこと。 個人情報の観点から交流することが難しいため。	今後、保護者会の開催を検討していきます。 各家庭のご意向に配慮しながら、公共施設等を使用したイベントの企画により、外部の子どもとの関わりをもつ機会が持てるように検討します。個人情報の観点から、地域交流が難しい場合は、利用児のご家族同士の交流から始めていけるよう検討します。
2	事業所で、ペアレントトレーニングを行える職員がいない。	人員配置の観点から、ペアレントトレーニングトレーナーの育成研修に参加することが難しいため。	人員に影響のない時間帯の内部研修に参加したり、ペアレントトレーニングのトレーナー研修に参加できるよう人員を調整します。
3			